

奈弓連だより

通巻 254号

令和5年4月号
発行 奈良県弓道連盟
会長 西中 正
編集担当 松澤和実 中西省五
連絡先：henshu@narakyudo.jp

令和5年度の始まり そして2031奈良国体へ向け

奈良県弓道連盟 会長 西中 正

令和4年度の県連行事の運営、近畿連合会担当に対して、新型コロナウイルスへの適切な対応の上でのご協力のおかげで滞りない運営をすることができました。御礼申し上げます。油断はできませんが、コロナ感染拡大も落ち着きを見せており、令和5年度の行事については日体協、全弓連の指導に準じて従来の運営に近い状態に戻せるよう各部で検討して進めていきます。令和2年からコロナの影響で弓道活動自粛を余儀なくされてきたことで審査会、競技会への挑戦も我慢を強いられたことでしょう。そんな中、昨年は「三密」を避けての審査会へ多くの方が受審され、結果を出されてきたのは幸いに思います。令和5年度からは学校、支部が活発に活動でき競技会でも全国、近畿大会等々、力を発揮してくださる事を期待しています。

コロナ禍で開催されていなかった都道府県対抗全国大会がオンライン形式で行われていますが、奈良県も参加できるように計画しています。全国優秀地連ランクの点数対象にもなる大会です。

2025年に滋賀県で国民スポーツ大会が実施される予定で準備が進められています。奈良県ではその6年後2031年に予定されています。連盟一丸となって大会成功に向かって準備していくことはもちろん、今まで以上に競技力向上に努力し、奈良県弓道連盟が益々発展することを祈念します。

●新型コロナウイルス感染症対策について

令和2年3月以降、検温やチェックシートの記入、マスクの着用等々、皆様にはご協力いただいております。感染法上の位置づけが5類感染症に変更されたのを確認後、県連としての対応を確定していく予定でありますので、新たな指針が出るまでは現状通り対応していただきますようお願いいたします。

●規約について

規約内に懲戒規定の設置を提案し、4/9の評議員会において全会一致で承認されました。(事務局)

昇段おめでとうございます

3月第4回・第5回地連審査会において次の方々が昇段されました。

四段合格者

・第4回 3月12日開催

橿原公苑弓道場

兵頭 拓磨さん (県医大)

松田 靖子さん (錬弓会)

ロート奈良弓道場

岸田 千鳥さん (生駒)

・第5回 3月19日開催

橿原公苑弓道場

新谷 利美さん (橿原)

ロート奈良弓道場

磯貝 敏郎さん (奈良)

おめでとうございます。(事務局)

令和4年度第4回・第5回地連審査 今年度の審査の形式について

3月12日・19日(日) 橿原公苑弓道場及びロート奈良弓道場に於いて、審査会が行われました。

今年度の審査会が無事に終了できましたこと、審査員長をはじめ審査員の先生方、お世話いただいた各学校、担当支部の皆様にお礼申し上げます。

令和5年度の審査会は受付を2部制にし、開会式・矢渡を行います。ただし、参加、見学は自由とします。学科審査は引き続きレポート提出となり、合格通知も引き続き、後日、支部・学校へお知らせします。

<審査所見>

行射審査では、級位受審者の入場タイミングが遅い、本座で立ったまま動かない、本座が揃わない場面がありました。

学科審査では、問題の記入がない物、レポート形式にも拘わらず内容が足りない物がありました。

<審査申込書について>

今回の審査会で、旧の用紙を使用した審査申込書が数枚ありました。審査申込書はホームページに記載されている用紙を必ず使用してください。また、プリントアウトする際には最終行にある立番（ ）が入るように設定してください。

・審査申込書を取り纏められている担当者の方へ
会場や人数の相違を防止するため、**審査申込明細書**をホームページに記載します。お手数ですが、今後、明細書を添付して審査申込書をお送りください。

3月審査結果は以下の通りです。

・第4回地連審査（樫原）

級位 受審者 82名
1級査定 58名、2級査定 22名、現級 2名
初段 受審者 22名 合格者 19名
弐段 受審者 13名 合格者 9名
参段 受審者 13名 合格者 1名
四段 受審者 9名 合格者 2名

・第4回地連審査（奈良）

級位 受審者 71名
1級査定 36名、2級査定 31名
3級査定 2名、現級 2名
初段 受審者 9名 合格者 7名
弐段 受審者 25名 合格者 19名
参段 受審者 4名 合格者該当なし
四段 受審者 3名 合格者 1名

・第5回地連審査（樫原）

級位 受審者 76名
1級査定 26名、2級査定 48名、現級 2名
初段 受審者 16名 合格者 9名
弐段 受審者 13名 合格者 8名
参段 受審者 5名 合格者 3名
四段 受審者 3名 合格者 1名

・第5回地連審査（奈良）

級位 受審者 47名
1級査定 31名、2級査定 16名
初段 受審者 4名 合格者 2名
弐段 受審者 10名 合格者 4名
参段 受審者 10名 合格者 1名
四段 受審者 7名 合格者 1名

以上

（審査部 松村由喜子）

令和5年度第1回中央審査講習会

中央審査合格と、指導者としての射技体配の向上を目指して

標題の講習会が、4月9日に樫原公苑弓道場において開催されました。

主任講師：教士八段 須田三郎先生

講師：教士七段 西浦範光先生

教士七段 藤岡順先生

午前は錬士・六段受審者の20名、午後は教士・七段受審者13名が参加し、午前午後ともに全員の一手行射の後、午前は持ち的射礼（取り掛けの間合い）と射技指導（一手5回）に分かれ、午後は全員が一つの射礼をご指導いただきました。

●午前の部

<一手行射後の講評>

須田先生：大三が低いと手先の射になる。大三で妻手肩が上がっても会に入って下がれば良いのでは。小さな動作も呼吸に合わせる事。一線の離れを。残心をまっすぐに。注意された事を大事にして、巻き藁で直す。一回でなんか直らない。一生懸命に納得行くまでやってください。

西浦先生：一線の離れを出すためどんな体の使い方をするのか。弓をまず楽しんで欲しい。会でどうするかが、弓の楽しみではないか。色々な人の話を聞きながら自分の会を考えて。入場の執り弓の姿勢と、帰りの弓の持ち方が変わっている。心掛けてください。

藤岡先生：構えに元気がなく、見ている側に訴えかけるものがない。また射品に関わることでは、顔向けの角度が変わったり、口元、喉仏が動いたりなど注意してほしい。一線に矢筋に働くような身体の働きを研究して欲しい。審査員側からすると十文字の構成や胸弦、頬付け、矢乗り等を確認していたら会は2秒では短いのではないか。



先生方による射技研修



後ろ射場 持ち的射礼 細かい所作も見直して

<閉会式挨拶>

藤岡先生から「自分に厳しく、今日の講習会を大事にして審査に向かってください。」西中会長から「全体に言えるのは、妻手が的中の邪魔をしている。親指が上向いていたりして、しがんで十文字が崩れるのはいけない。月に1回でも今日のような丁寧な練習をしてほしい。」とご挨拶いただきました。

●午後の部

<一手行射後の講評>

須田先生：一定の呼吸の長さを身に着けて。5人立で大前があんまり時間をかけたら良くない。肘を生かそうと大三が低くなる人が多い。高さがないと手首引きになる。会では伸び合いが止まってしまう。胸から左右に分かれる離れを。的中を妻手でこわしてしまっている人がいる。石岡久夫先生の言葉に「的中は妻手にあり」とあり、残心の美しさに繋げる。10月の講習会では「息合い」、2月には「気合」を伝えてきた。大谷翔平さんの「憧れを捨てよ」は、自分の射に自信をもって強く出すことと同じ。



後ろ射場 一つの射礼 真剣な眼差いで

西浦先生：午前部の部よりも、射品を感じた。歩くのがゆっくりすぎる。全体的に迫力のある射を目指してほしい。伸び合いをどれくらい頑張れるか。会の長さをどのように生かしているか。離れでパシッと決めて動かない。より高い射品を目指してください。

藤岡先生：支部でも最初の一手を真剣に。伸び合いは気合の充実が見られるように、最後にパシッと割れるように。何かヒントをつかんでほしい。

吉本先生：姿勢、立ち方、座る、矢の位置など、すぐに修正できることはあります。



前射場 射技研修 丁寧なご指導をいただく

<閉会式挨拶>

西浦先生：この講習会で指摘されたちょっとした事をどう直していくかが、高い射品に繋がる。今日の講習を糧に日々の練習を頑張ってください。

西中会長：甲矢で良くても、乙矢で失敗してはいけない。また、審査で弓止まりの悪さが指摘される。残心でピタッと弓が止まるか。集大成である残心で弓がダラダラと動いては台無し。良い2本を出してください。

先生方には丸一日、熱心なご指導をいただきました。ありがとうございました。（指導部 松澤和実）

令和4年度 奈良県中学校弓道選手権大会

男子優勝は石田選手(白檀)

女子優勝は大内選手(檀原)

学校対抗戦は檀原中学校が優勝

今年度最後の標題の大会が、3月18日(土)、檀原公苑弓道場にて開催されました。男女個人戦は各4射で2中以上が予選を通過し、予選通過者は再度4射して、合計8射の的中数で順位を決定。学校対抗戦は各校4名(男女混成可)のトーナメント戦で行われました。参加人数は男子56名、女子101名でした。結果は以下の通りです。

<個人戦>

男子

女子

優勝	石田 隆喜 (白檀)	大内 真琴 (檀原)
2位	村田 晃啓 (檀原)	佐伯 文香 (八木)
3位	松村 寿洸 (八木)	西田 歩未 (大成)

〈学校対抗戦〉

- 優勝 榎原中学校
2位 八木中学校
3位 大成中学校



個人戦入賞者 左から女子1位～3位、男子1位～3位



学校対抗戦 前列 1位 榎原中学校
後列左 2位 八木中学校、右 3位 大成中学校
(中体連 中前芳一)

お城まつりに寄せて 緊張感あふれる中、一手の行射を真剣に

4月2日、大和郡山市弓道場におきまして、お城まつり弓道大会が開催されました。今年は参加者91名(参段以下の部：46名)(四段以上の部：45名)と県内から多くの選手が集まり、満開の桜に負けないぐらい見ごたえのある大会となりました。

私とお城まつり弓道大会の出会いには6年前の春となります。まだ出場資格がない時にお手伝いに参加し、予想していた楽しい「お祭り」とはまるで違って、会場は緊張感に溢れていました。そんな緊張感あふれる「お城まつり」に参加するようになって4回目になります。「お城まつり」の一週間前に近畿連合審査に初めて臨みました。しかし、合格なんてほど遠い結果でした。「初めての受審で受かるはずないと考える自分は随分甘えがあり受審するのも大変失礼なことだった、これからは一手の行射に真剣に取り組もう。」と猛反省しました。お城まつりでは、せめて昨年より一点でも高い得点が出るように頑張ろうと決意しました。稽

古で須田先生から「丹田に氣息を収めて、手先で離すことなく、体の中筋から離す」また、藤岡先生から「五段では射品、射格が求められるが、それには縦線が大事」と教えて頂いたことを思い出し、この二点は特に意識して取り組もうと思いました。しかし、課題がそんなに容易に達成できるわけでもありませんでした。閉会式の折に西浦先生が「精神力の強さ」についてお話され、まさに自分に足りないことだと痛感しました。また弓具の扱いについて触れられたときは、以前に別の大会で吉本清巳先生の弓具が道場外の片隅に、万全の準備をされた状態でそっと丁寧に置かれていてその謙虚さに感動を覚えたことを思い出しました。そのような気づきを得たことや、協会外の方々の多数のご参加を得て、間近に憧れの射を拝見できたことは大きな収穫です。

最後に終日、審査して頂いた先生方、そして準備から運営とご尽力頂いた協会員の皆様に感謝申し上げます。有り難うございました。

◎ 入賞者

- 最高得点者 佐藤 峻 628点 郡山(錬六)
参段以下 1位 松本 翼 奈良高専(初段)
2位 城戸陽斗 奈良高専(式段)
3位 吉里晃秀 蒼穹会(参段)
四段以上 1位 仲倉牧子 榎原(四段)
2位 松澤和実 奈良(錬六)
3位 安住奈津子 郡山(錬六)



後列 四段以上 2位 1位 最高得点者 3位
前列 三段以下 2位 1位 3位

(大和郡山市弓道協会 清水美千代)

編 | 集 | 後 | 記

今年の桜は少し早咲きでしたね。花粉と黄砂には辟易しましたが、今はハナミズキが美しく街を彩り、山では藤の花が綺麗です。我が家の小手毬と紫陽花も花を咲かせる準備をしています。まだ制限は続きますが、明るい日々でありますように。(編集担当 松澤和実)